

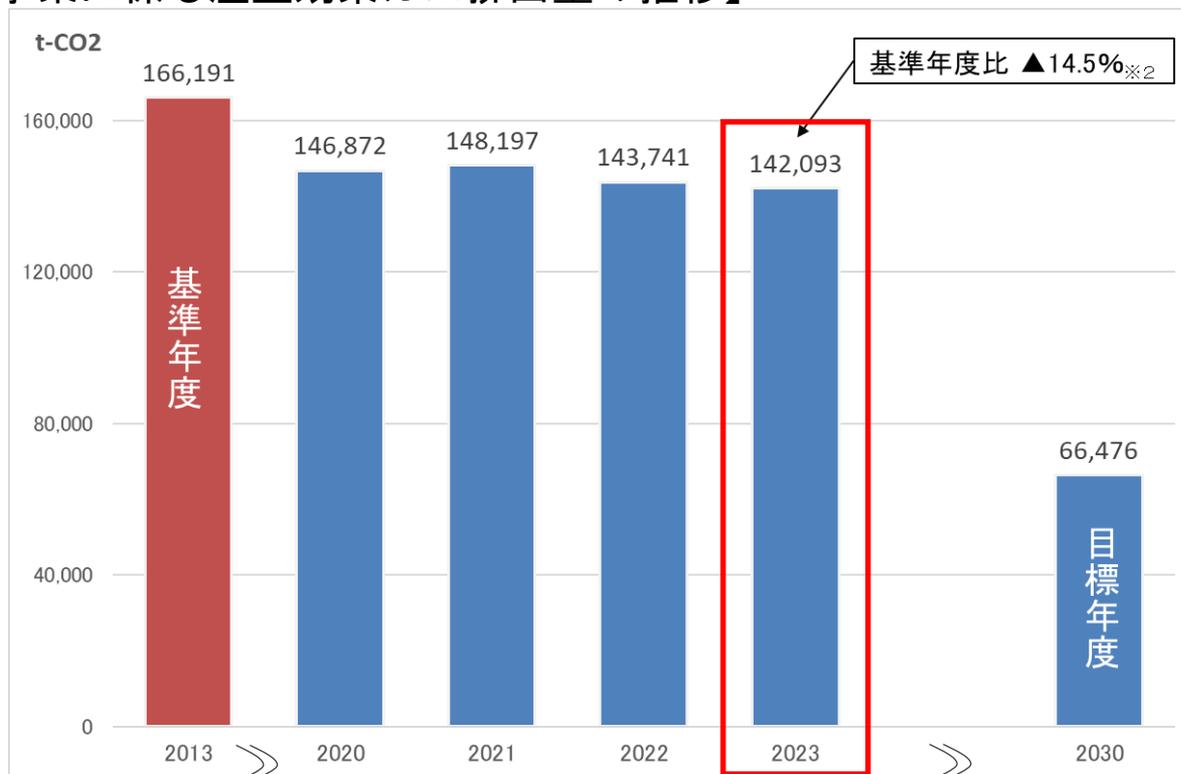
県の事務事業に係る温室効果ガス排出量について

【概要】

県の事務事業に係る2023（R5）年度の温室効果ガス排出量は14万2,093トンとなり、2013（H25）年度比で2万4,097トン減少（▲14.5%）となりました。

第2次岩手県地球温暖化対策実行計画に掲げる、2030年度の排出量を2013年度比で60%削減する目標の達成に向け、引き続き業務における省エネ活動^{※1}に取り組むほか、県有施設等の脱炭素化に向けた基本方針に基づき、2024（R6）年度から順次、照明のLED化、公用車のEV化、太陽光発電の導入、新設施設のZEB化を実施していきます。

【県の事務事業に係る温室効果ガス排出量の推移】



※1 県の事務事業に係る排出量削減のため、「岩手県エコマネジメントシステム」に基づき、就業時間以外の消灯、適切な冷暖房運転（夏季28%、冬季19℃）、エコドライブの徹底、クールビズ・ウォームビズの実施等に取り組んでいる。

※2 本データには、基準年度以降に開設された新たな施設使用による排出量の増加を含む。

【参考1】エネルギー別排出量
(基準年度との比較)

区 分	H25年度 排出量 (基準年度)	R5年度		比較	
		排出量	構成比	増減量	増減比
電力	101,574	82,523	58.1%	▲ 19,051	▲ 18.8%
A重油	44,334	44,084	31.0%	▲ 250	▲ 0.6%
灯油	5,796	4,534	3.2%	▲ 1,263	▲ 21.8%
公用車用ガソリン	5,576	4,074	2.9%	▲ 1,502	▲ 26.9%
公用車用軽油	1,016	949	0.7%	▲ 67	▲ 6.6%
L P G	760	429	0.3%	▲ 331	▲ 43.6%
都市ガス	1,037	810	0.6%	▲ 227	▲ 21.9%
その他 (船舶、ジェット燃料等)	3,062	2,701	1.9%	▲ 361	▲ 11.8%
二酸化炭素	163,156	140,104	98.6%	▲ 23,052	▲ 14.1%
その他温室効果ガス	3,034	1,989	1.4%	▲ 1,045	▲ 34.5%
合 計	166,191	142,093	100%	▲ 24,097	▲ 14.5%

【参考2】県有施設等の
脱炭素化に向けた基本方針
(概要)

新築建築物



今後新築する県有施設は**ZEB Ready** (※1)
相当以上とする。

※1 ZEB Ready : 50%以上の省エネを図った建築物

LED照明



今後新築する県有施設はもちろん、少なくとも
20年以上供用が見込まれる県有施設
にはLED照明を導入する。

太陽光発電



10kW以上 (※2) 設置可能な**県有施設の**
約50%以上に太陽光発電設備を設置する。

※2 10kW以上は事業用電気工作物で10kW未満は一般用電気工作物

公用車



代替可能な車種がない場合等を除き、**新規**
導入又は**更新する乗用車は全てEV**
(ハイブリッドを含む)とする。(※3)

※3 公用車の現行の更新基準は経過年数13年超など

- ▶ 上記基準に満たない施設等についても、可能な限りZEB化や太陽光発電、LED照明、EV等の導入を図る。(例えば、県民へのPR効果が高い施設など)
- ▶ その他、再エネ電力調達なども組み合わせることにより、2030年度までの目標を達成する。